

## いつの間にか、阿部節

今週、2つの研修会で話す機会を得た。一つは、地方都市の在宅の難病の方々のボランティア研修会で「ボランティア活動について」のテーマで、もう一つは、重症児の通園施設職員の研修会で「家族との関わり」をテーマに話させていただいた。

いずれの研修会も、いつの間にかいつもの阿部節？になっていただけに、ちょっぴり反省 m(\_ \_)m

後日、それぞれの企画者から以下のように感想をいただいた。

「私は、ボランティアを積極的にしたこともないし学習したこともないので、ボランティアということが『理論－実際』がよくわからなかったのです。阿部さんの話を聞いて、生きることにボランティア精神は『大切なこと』だと感じています。」

「支援する側の姿勢がそのまま本人（利用者）の人生に大きく影響するのだというお話を伺い、改めて『支援すること』の責任、人と向き合うときの謙虚さの重要性を強く感じました。」

それぞれの研修会で、私が語りたかった肝心なことは話の中で触れていたようで、ホッとしました。お陰様で、今年のご用納め？が気持ちよくできました(^\_^)/~

( 2003 年 12 月 18 日 記 )